

東北管内では唯一の学習型方式による訓練を実施します。 ～大規模土砂災害を想定した危機管理演習～

新庄河川事務所では、土砂災害に備えて、平成22年度から関係機関との連携の強化、危機管理能力の向上を目的とした危機管理の訓練を実施しています。

今年度は、角川流域での天然ダム^{※1}及び戸沢村で発生する地すべり等を想定した、学習型方式による情報伝達訓練を実施します。

1. 演習日時 平成28年1月14日(木)午前10時～午後3時00分
2. 実施場所 戸沢村中央公民館 「体育館」
3. 参加機関 陸上自衛隊^{※2}、山形地方气象台、山形県、山形県警察本部、新庄警察署、戸沢村^{※2}、最上広域市町村圏事務組合消防署、山形県建設業協会最上支部^{※2}、最上川・赤川水系砂防ボランティア協会、東北地方整備局、山形河川国道事務所^{※2}、新庄河川事務所
4. 参加者 約50人
5. 主な訓練内容 ○災害想定は、台風接近に伴う前線活発化による豪雨によって天然ダムと地すべりが発生したことを想定し、各機関の対応行動を確認します。
○参加者全員が状況の流れ、対応や行動を共有・理解出来る学習型方式により、土砂災害対応について確認を行います。

※ 当日の気象状況により、訓練を中止する場合があります。

※ 会場は体育館のため、内履き及び防寒対策をお願いします。

※ 会場にはマスクミ関係者席及び一般傍聴席を用意しています。

なお、一般の方で傍聴を希望される場合は事前に事務局までご連絡願います。

※1 天然ダムとは、大雨や地震といった自然現象により土砂等が河川に堆積し、水の流れをせき止め、ダム化した状態のこと

※2 昨年度より今年度新たに加わる機関

<発表記者先:新庄新聞放送記者会>

【問い合わせ先】

<国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所>

山形県新庄市小田島町5-55 TEL:0233-22-0262(直通)

副所長(砂防) 佐藤 勝美(内線205)

調査課長 田村 公仁(内線351)

■ スケジュール

	実施事項	時 間
1	9:30 受付開始 10:00 集合	9 : 30～10 : 00
2	開会挨拶 訓練の説明	10 : 00～10 : 15
3	訓練	10 : 15～12 : 00
4	休憩（昼食）	12 : 00～13 : 00
5	訓練	※ 13 : 00～14 : 30
6	意見交換、講評	14 : 30～15 : 00
7	閉会	15 : 00

※中でも以下の時間帯でメインの訓練を行う予定です。

13:00～ 机上で戸沢村避難計画検討、国交省天然ダム応急対策検討訓練

14:00～ 避難計画、応急対策訓練

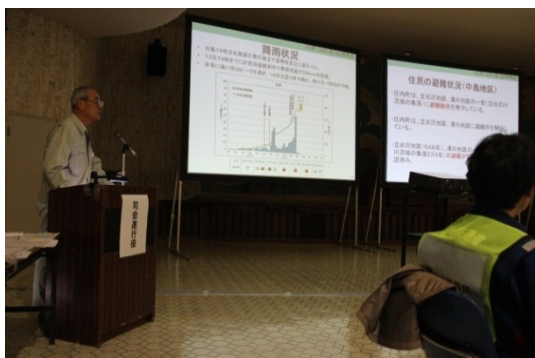
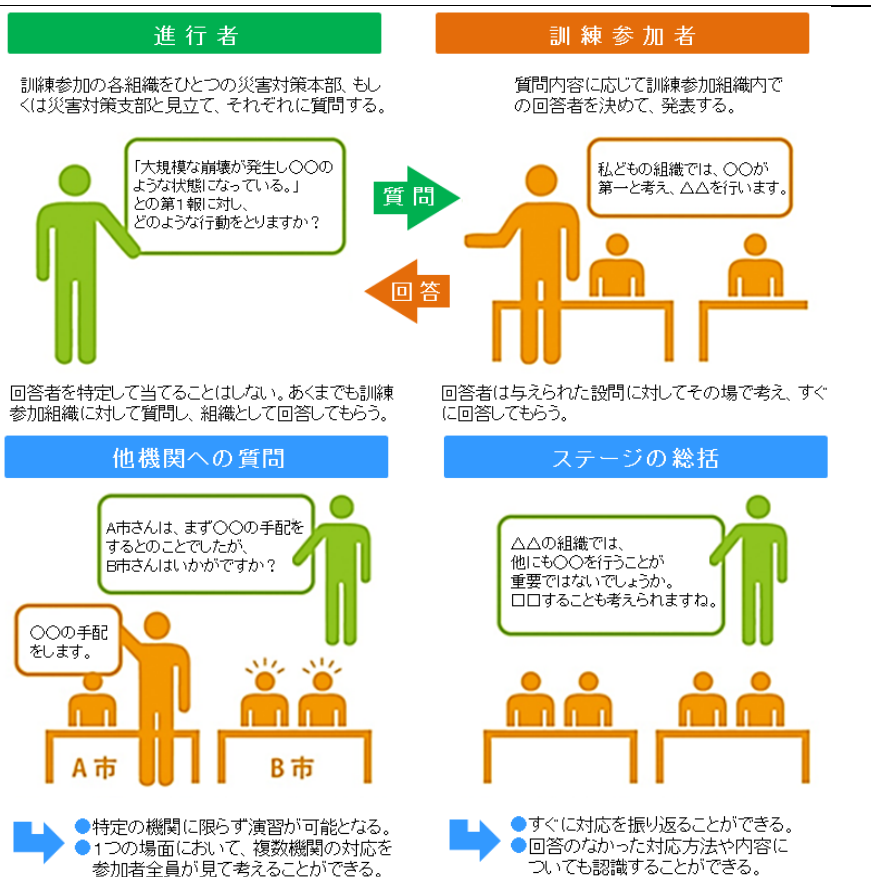
■ 訓練方法（学習型方式）

基本的な進行

「進行者」と「訓練参加者」にわかれ、状況付与を行った上で進行者が対応について質問し、これに訓練参加者が回答する形式で進行します。

振り返り

たとえ回答が適さなくても、すぐに振り返ることができる訓練です。



参考写真：平成 27 年 1 月 30 日に新庄河川事務所が実施した

「大規模土砂災害を想定した学習型訓練による危機管理演習」状況